

令和8年度 熊本県立荒尾支援学校小学部一般学級修学旅行仕様書

以下の事項を熟覧のうえ、入札（見積）してください。

1 旅行期日

令和8年11月24日（火）～27日（金）の期間で2日間

第1希望：11月25日（水）～26日（木）1泊2日

第2希望：11月26日（木）～27日（金）1泊2日

第3希望：11月24日（火）～25日（水）1泊2日

2 旅行先

阿蘇方面

3 日程・経路・宿泊地

（1）第1日目

学校 → 本田技研工場見学 → 阿蘇くまもと空港 → 宿泊所

（2）第2日目

宿泊所 → 阿蘇ファームランド → 学校（16:00頃着）

（3）主な見学先

阿蘇ファームランド、熊本空港、工場見学（本田技研、アートキャンディ、ホシサン、らくのうマザーズ、JA果実連）、その他見学可能な場所

4 交通機関

貸切バス

5 参加予定人員

32人（児童21人 教職員10人 保護者1人）

内訳 一般学級児童 5年生 男子9人 女子3人 計12人

6年生 男子6人 女子3人 計 9人

教職員 10人 保護者 1人

6 宿舎の条件

（1）安全・衛生・環境が十分配慮され、良好であること。

防火基準適合表示のある宿泊施設であること。

（2）特別支援学校修学旅行の受け入れ実績のある施設が望ましい。

（3）見学地にできるだけ近いところが望ましい。

（4）児童の部屋に加え、引率責任者1部屋及び静養室1部屋、保護者1部屋があること。

（5）宿泊部屋は、可能な限り同じフロアであり、できる限り他の宿泊客と離れていることが望ましい。朝夕食の部屋は、同一部屋で貸切利用ができることが望ましい。

（6）浴場は、時間帯による貸切利用が可能である方が望ましい。

（7）観光バスの駐車場が確保されていることが望ましい。

（8）旅館賠償保険に加入していること。

（9）食事は、1泊2食（夕・朝食）付きで献立のバランス、調理方法、衛生面の配慮がなされ、変化に富んだものであること。食物アレルギーの対応ができる食事が提供できること。

（10）障がい児の受け入れが可能な医療機関が近隣にあること。

7 昼食等

昼食2回。

感染症予防、児童の心理的安定の面から、貸切のスペース又は他の利用客と離れた場所で食事ができることが望ましい。

8 安全・事故防止策等について、次の事項を書面で提出すること。

- (1) 事故防止及び安全対策
- (2) 連絡体制
- (3) 添乗員名簿（うち1人は旅程管理主任者としての資格を有していること。）
- (4) 貸切バス（営業登録してあること。）
- (5) 食事内容・衛生
- (6) 旅行傷害保険
- (7) 物損保険

9 その他の遵守事項

- (1) 添乗員は1人以上とすること。
- (2) バスは全行程同一会社とし、余裕のある座席配置が可能であること。
- (3) 見積書は、令和8年2月1日現在の料金で作成すること。
なお、見積書に記載する金額は消費税込とすること。
- (4) 見積書提出時にできる限り宿泊施設名を記載すること。
- (5) 見積書の金額は、児童と教職員それぞれ1人当たりの費用とすること。
- (6) 保険金は、1人 1,000万円以上とすること。
- (7) 移動及び休憩など無理のない行程であること。
- (8) 旅行中は、急な体調変化に備え、障がい児の受け入れが可能な医療機関及び救急搬送の体制が整っていること。

10 旅行経費について

実施基準により児童の旅行経費上限は、21,580円。

令和8年度 熊本県立荒尾支援学校中学部一般学級修学旅行仕様書

以下の事項を熟覧のうえ、入札（見積）してください。

1 旅行期日

令和8年11月9日（月）～13日（金）の期間で3日間

第1希望：11月10日（火）～12日（木）2泊3日

第2希望：11月11日（水）～13日（金）2泊3日

第3希望：11月 9日（月）～11日（水）2泊3日

2 旅行先

福岡方面

3 日程、経路、宿泊地

（1）第1日目

学校 → トヨタ工場見学 → チームラボフォレスト福岡 → 宿泊所

（2）第2日目

宿泊所 → マリンワールド海の中道 → 大宰府天満宮 → 宿泊所

（3）第3日目

宿泊所 → キッザニア福岡→ 学校（16：00頃着）

（4）主な見学先 トヨタ工場、チームラボフォレスト福岡、マリンワールド海の中道、

大宰府天満宮、キッザニア福岡

工場見学（ひよこ工場、明太工場、ヤクルト工場、めんべい工場等）

その他見学可能な場所

4 交通機関

貸切バス

5 参加予定人員

24人（生徒15人 教職員9人）

内訳 一般学級生徒 3年生 男子11人 女子4人 計15人

教職員 9人

6 宿舎の条件

（1）安全・衛生・環境が十分配慮され、良好であること。

防火基準適合表示のある宿泊施設であること。

（2）特別支援学校修学旅行の受け入れ実績のある施設が望ましい。

（3）2泊とも同じ宿泊施設であることが望ましい。

（4）生徒の部屋以外に、引率責任者1部屋及び静養室1部屋の確保ができること。

（5）宿泊部屋は、可能な限り同じフロアであり、朝、夕食の部屋は、同一部屋で貸切ができることが望ましい。

（6）浴場は時間帯による貸切利用が可能である方が望ましい。

（7）観光バスの駐車場が確保されていることが望ましい。

（8）旅館賠償保険に加入していること。

（9）食事は、1泊2食（夕・朝食）付きで献立のバランス、調理方法、衛生面の配慮がなされ、変化に富んだものであること。食物アレルギーの対応ができる食事が提供できること。

(10) 障がい者の受け入れが可能な医療機関が近隣にあること。

7 昼食等

昼食 3回

8 安全・事故防止策等について、次の事項を書面で提出すること。

- (1) 事故防止及び安全対策
- (2) 連絡体制
- (3) 添乗員名簿（うち1人は旅程管理主任者としての資格を有していること。）
- (4) 貸切バス（営業登録しているバスであること。）
- (5) 食事内容・衛生
- (6) 旅行傷害保険
- (7) 物損保険

9 その他の遵守事項

- (1) 添乗員は1人以上とすること。
- (2) バスは、全行程同一会社とし、余裕のある座席配置が可能であること。
- (3) 見積書は、令和8年2月1日現在の料金で作成すること。なお、見積書に記載する金額は消費税込とすること。
- (4) 見積書提出時にできる限り宿泊施設名を記載すること。
- (5) 見積書の金額は、生徒と教職員それぞれ1人当たりの費用とする。
- (6) 保険金は、1人 1,000万円以上とする。
- (7) 旅行中は、急な体調変化に備え、障がいのある生徒の受け入れが可能な医療機関及び救急搬送の体制が整っていること。

10 旅行経費について

実施基準により生徒の旅行経費上限は、57,720円。

令和8年度 熊本県立荒尾支援学校高等部一般学級 修学旅行仕様書

以下の事項を熟覧のうえ、入札（見積）してください。

1 旅行期日

第1希望：令和8年12月 8日（火）～10日（木）2泊3日

第2希望：令和8年12月15日（火）～17日（木）2泊3日

2 旅行先

大阪方面

3 日程、経路、宿泊地

（1）第1日目

新玉名駅（8：30以降出発）→ 新大阪駅 → 見学 → 宿泊所

（2）第2日目

宿泊所 → 見学 → 宿泊所

（3）第3日目

宿泊所 → 見学 → 新大阪駅 → 新玉名駅（18：00頃着）

（4）主な見学先

- ・ 第1日目及び第3日目

吉本新喜劇、通天閣、大阪水上バスアクアラインナー、大阪城、その他見学可能な場所（海遊館は入館したことがある者が多数いるため、候補から除くこと。）

- ・ 第2日目

ユニバーサルスタジオ・ジャパン（以下 U.S.J.）

4 交通機関

新幹線・貸切バス

5 参加予定人員

32人（生徒22人 教職員10人）

内訳 一般学級生徒 2年生 男子16人 女子6人 計22人

教職員 男子5人 女子5人 計10人

6 宿舎の条件

（1）安全・衛生・環境が十分配慮され、良好であること。

防火基準適合表示のある宿泊施設であること。

（2）生徒指導を徹底させる上で、分宿は避けること。

（3）U.S.J.で発作、発熱等の事態が起こっても容易にホテルに帰り対処できることを考え、徒歩圏内等、可能な限りU.S.J.に近い場所にあること。ホテル出発が遅れたり、早くホテルに帰ったりする生徒が出た場合への対応として、車椅子で利用できる福祉タクシーの手配ができる（利用料金は学校負担）。

（4）2泊とも同じ宿泊施設であること。

（5）旅行中の安全と健康に配慮し、疲労回復のため、①室内で風呂とトイレは完全に別になっていること。②3～4人部屋が6室程度、他2人部屋で、同一階で宿泊が可能であること。③全館バリアフリーで十分な広さがあること。④洋室（ベッド）の部屋も確保できること。

（6）生徒の部屋以外に、引率責任者1部屋及び静養室1部屋以上の確保ができること。

- (7) 大浴場の場合、時間帯による貸切利用ができること ((5) ①の場合は必要なし)。
- (8) 食事は、1泊2食(夕・朝食)付きで献立のバランス、調理方法、衛生面の配慮がなされ、変化に富んだものであること。食物アレルギーの対応ができる食事が提供できること。U.S.Jでは、昼食用クーポンなどあれば利用する。
- (9) 旅館賠償保険に加入していること。

7 昼食等

昼食3回

8 安全・事故防止対策等について、次の事項を書面で提出すること。

- (1) 事故防止及び安全対策
- (2) 連絡体制
- (3) 添乗員名簿(うち1人は旅程管理主任者としての資格を有していること。)
- (4) 貸切バス(業務登録をしているバスであること。)
- (5) 食事内容・衛生
- (6) 旅行傷害保険
- (7) 物損保険

9 その他遵守事項

- (1) 添乗員及び看護師は、それぞれ1人以上とすること。
- (2) バスは、大阪での全行程同一会社とし、余裕のある座席確保が可能であること。
- (3) 新幹線は、同一車両に乗車すること。
- (4) 見積書は、令和8年12月1日現在の料金で作成すること。
- (5) 見積書提出時にできる限り宿泊施設名を記載すること。
- (6) 見積書の金額は、生徒と教職員それぞれ1人当たりの費用とすること。
- (7) 旅行参加者保険、学校条項保険、新幹線運休保険に加入し、それぞれの金額を明示すること。傷害保険金は、1人1,000万円以上とすること。
- (8) 旅行中は、急な体調変化に備え、生徒の受け入れが可能な医療機関及び救急搬送の体制が整っていること。
- (9) 必要に応じて事前資料の提出及びヒアリングに応じること。
- (10) 保護者向け修学旅行説明会(業者による保護者への説明会)での説明に応じること。
開催予定日：6月5日(金)午前10時
- (11) 当日の添乗員は、生徒の事前学習の機会で顔合わせをし、主にU.S.Jでの過ごし方について生徒向けの説明に応じること。
開催予定日：11月下旬

10 旅行経費について

実施基準により生徒の旅行経費上限は、85,000円とする。